リーダーたちの本棚 VOL.64
Leader as Readers

企画・制作 朝日新聞社広告局　広告特集

L【率いる】Leading
スポーツを通じて より良い未来へ

2011年、「スポーツ振興法」が50年ぶりに全面改正され、新たに「スポーツ基本法」が施行された。「スポーツは、世界共通の人類の文化である」という前文から始まるこの法律のもと、競技水準の向上、スポーツによる地域振興や国際交流などが国家戦略として推進され、その中核機関として日本スポーツ振興センター（JSC）の役割が一層期待されている。

「スポーツ基本法は、スポーツを通して未来のために何ができるかという概念に基づいています。この概念は国際的に重視され、例えば国連の8つのミレニアム開発目標（初等教育の完全普及の達成、ジェンダー平等推進、疾病蔓延（まんえん）の防止など）の解決にスポーツが貢献できるとして議論が進んでいます」

国際的に認められるスポーツ環境を念頭に置き、JSCは今年、あらゆる脅威からスポーツのインテグリティ（Integrity 高潔さ）を守る取り組みを実施する「スポーツ・インテグリティ・ユニット」を設置した。八百長、違法賭博、ガバナンス欠如、暴力、ドーピングといった脅威に対するモニタリング・調査・啓発・防止活動を実施している。

「こうした取り組みは、欧米のスポーツ先進国の間でとても進んでいます。国際サッカー連盟（FIFA）をはじめ海外のスポーツ団体とも連携し、日本におけるスポーツの価値を高めていきます」

地方の活性化に寄与したい

JSCは、スポーツ振興くじ「toto」の販売及びその収益を財源としたスポーツ振興事業助成を行う。昨年度の「toto」の売り上げは過去最高の約1,080億円、今年度の助成財源は約188億円を確保した。助成金の一部は、新国立競技場の建設にも充てられる。また、地方自治体のスポーツ推進事業も支援。昨年は、地域同士の連携を促すべく「JAPAN SPORT NETWORK」を立ち上げた。情報やノウハウをシェアできる体制を整え、565（2014年7月現在）の地方自治体と共同宣言を行っている。

「2020年東京オリンピック・パラリンピックは、東京の一人勝ちなどではなく、おおいに地方も活気づけるはずです。JSCでは、スポーツによる地域の活性化と地域によるスポーツの活性化のWin-Winの関係を目指します。例えば、北海道の美深町は、スキーのエアリアルの振興に自治体が予算措置をし、エアリアルの魅力を通じて町の評判が高まり、人を呼び込んでいます。こうした事例をメディアなどに発信し、2020年までにオールジャパン体制を整えたいです」

国際大会の開催を、「ユニバーサルデザインが行き届いた都市をつくり、その先進性を世界に示す絶好の機会」と考える。ラグビーワールドカップ2019の日本招致にも尽力した。河野さん自身、大学時代はラグビー部に所属し汗を流した。

「ラグビーはトライを決めるために戦略や戦術が必要です。リーダーも同じ。掲げた夢のビジョンを明確にし、戦略、戦術を練って実行に導き、成果を出さなければならない。目下の夢は、スポーツ基本法の精神を日本に根付かせること。JSCの様々な活動を確実に前進させていきます」

web 広告日報
■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、河野一郎さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告　検索

日本スポーツ振興センター　理事長
河野一郎（こうのいちろう）さん

1946年神奈川県生まれ。医学博士。筑波大学大学院教授、学長特別補佐を経て現職。オリンピック日本選手団本部ドクター、日本ラグビーフットボール協会強化委員長、世界アンチ・ドーピング機構委員、2016年招致委員会事務総長などを歴任。日本オリンピック委員会理事、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長。

R【読む】Reading
スポーツに置き換えるのも面白い

国立競技場の運営やスポーツ振興くじ「toto」の販売、その収益による助成事業などを展開する独立行政法人日本スポーツ振興センター。理事長の河野一郎さんは、ソウル五輪から3大会連続で日本選手団のチームドクターを務め、2016年、2020年夏季五輪の招致メンバーとしても活躍。「スポーツの世界に通じる」という5冊を紹介してくれた。

なぜ能力の差があるのか 明快に答えてくれる2冊

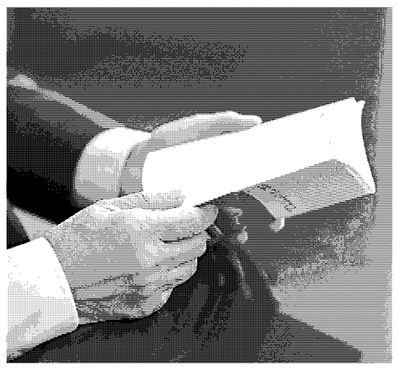
人は生まれながらにして平等で、貴賤（きせん）上下の差別はない。しかし、広く人間社会を見渡すと、賢愚、貧富などの差がある。なぜか。理由は明らかで、学ぶか学ばないかによってそれが決まるのだ。福沢諭吉は、『学問のすゝめ』でこうしたことをつづりました。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずといへり」という冒頭の一節を読み、平等社会の実現を唱える書かと思えば、続く文章は、格差社会の現実を直視し、その中でどう生きるべきかを説いていました。努力なくして結果はない。まさにスポーツの世界にも言えることです。ページを進め、国家論や女性の自立などに触れるくだりは、現代への示唆を含みます。読んだのは高校時代ですが、折々で思い返します。

学ぶかどうかによる個人差もあれば、生まれもっての個人差もあると思います。『EQ こころの知能指数』は、人間には遺伝子的に刷り込まれた気質「情動」があり、情動をつかさどる脳の部分がどんな仕組みで人間に怒りや悲しみをもたらすのかが科学的に検証できるようになったことを紹介。情動を生産的な目標に向けて活用し、難局において自分の感情や他人との関係をコントロールする能力「EQ（Emotional Intelligence Quotient）」が重要だと書いています。これを読んだ90年代後半、私は平尾誠二監督率いるラグビー日本代表の強化の責任者として携わっていました。一流の選手はセルフコントロールの能力に優れています。それを育むために何が必要か。「情動教育」にも触れる本書がとても参考になりました。

スポーツ振興の職務にヒントをくれた3冊

私がラグビー日本代表と共有した目標は、ワールドカップへの出場でした。強豪国とどう渡り合うかを考えていた時に『文明の衝突』を読みました。文明のアイデンティティーが冷戦後の統合や分裂のパターンを形作っている、との指摘で人々の関心を集めた本です。注目したのは、日本の文明をアジアの国々から切り離して特異だとしている点で、このことを自覚し、諸外国の情報に通じる必要性を感じました。自分の職務的にもそれが大事だと考えるようになりました。例えば、欧米スポーツ先進国にない、情報戦略、アンチドーピング、メディカルサポートなどを行う「情報・医・科学サポート」部門の設置を日本ラグビーフットボール協会に進言しました。現在は多くのスポーツ団体が採用していますが、当時は珍しい考え方でした。

日本の特異性が強みになると確信できた本もあります。『国家の品格』です。夏季五輪の招致活動において本書の内容を強く意識しました。「国威発揚にオリンピックは必要か」などとメディアは書きましたが、「国威」という漢字は武力や戦争を想起させ、抵抗を覚えます。オリンピック・パラリンピックは日本のプレステージを押し上げる催しであり、そのキーが国家の品格だと考えます。スポーツは勝利至上主義の世界。そうした中で、フェアプレーや対戦相手への礼儀など、わが国の品格あるスポーツ文化は世界に誇れます。その根底にあるのは、日本古来の文化です。本書の著者・藤原正彦氏は、自然への畏怖（いふ）、もののあはれ、武士道など、論理では説明できない日本人の情緒や伝統に由来する形は尊く、真の国際人を目指すなら、英語を学ぶ前に日本文化を学べと説きます。おおいにうなずける内容で、励まされました。



『新幹線とナショナリズム』は、十河信二国鉄総裁の時代から現代まで続く新幹線建設への批判的な報道に疑問を呈し、一極集中の緩和、震災時輸送など、新幹線建設の意義とともに、大きな国家プロジェクトを遂行するためには、民族主義や政府主義とは別物の、家族の絆に似た健全なナショナリズムが重要だと語ります。この内容は、オリンピック・パラリンピックの開催や新国立競技場の建設にそのまま置き換えられると思いました。国立競技場の前身、明治神宮外苑競技場は、関東大震災の翌年に完成。「災い転じて福となす」と言って建設を先導したのは、日本のスポーツの道を開いた嘉納治五郎氏でした。東京都が2020年オリンピック・パラリンピックの招致に手を挙げたのは、3・11震災後です。嘉納氏の志を手本にスポーツ振興に力を尽くしていきたいと思います。（談）

河野一郎さんのおすすめ本棚

『現代語訳 学問のすすめ』（知的生きかた文庫）
福沢諭吉・著　橋谷昭彦・訳・解説
明治維新直後の大ベストセラー全17編を平易な文章で紹介。日常生活に役立つ「実学」や個人の自立、法の順守や言論・行動の自由などの大切さを説く。

『EQ こころの知能指数』（講談社）
ダニエル・ゴールマン・著　土屋京子・訳
自分の感情を理解し、衝動を自制したり、人の気持ちをくんだりできる能力「EQ」。知能テストで測定されるIQとは異なる頭の良さについて詳しく解説。
（現在「講談社＋α文庫」より発売中）

『文明の衝突』（集英社）
サミュエル・ハンチントン・著
鈴木主税・訳
冷戦後の国際紛争は文明による衝突であると指摘。世界の枠組みを、中華・日本・イスラム・西欧・アフリカなど8つの文明圏に分け、国際情勢を予測。

『国家の品格』（新潮新書）
藤原正彦・著
今の日本に必要なのは、論理よりも情緒、英語よりも国語、民主主義よりも武士道精神、「国家の品格」を取り戻すこと。数学者である著者の画期的日本論。

『新幹線とナショナリズム』（朝日新書）
藤井聡・著
敗戦後の日本に希望を与え、ナショナルプライドを復活させた新幹線。全国津々浦々に新幹線を造ることの意義を説き、構想実現への筋道を具体的に示す。

三笠書房　千代田区飯田橋3-3-1
◎詳細は⇒http://www.mikasashobo.co.jp
◎（株）ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899（9:30〜19:00）からもご購入いただけます。

40代からの 若返りホルモンDHEAが若さを決める！
「太らない体」のつくり方
医学博士 満尾 正
始めた人からみるみる変わる！
12刷
ISBN978-4-8379-2529-3 ●定価（本体552円+税）

男の価値は〝ここ〟で決まる
「バカになれる男」の魅力
潮凪洋介
仕事、金、女——図太く生きる知恵
ISBN978-4-8379-2550-7 ●定価（本体1000円+税）
最新刊

人間関係の秘密
なぜ、あの人はいつも好かれるのか
本田 健
ISBN978-4-8379-2547-7●定価（本体1300円+税）
たった「ひと言」でガラリと変わる——相手の心を動かす秘訣。
▶相手の“やり場のない思い”に気づく
▶“照れくさい言葉”の力
▶“デリケートな感情”こそ、シェアする
▶「余裕のないとき」ほど、人格がテストされている
▶「壁を乗り越えていく姿」に、人は感動する
著作累計600万部突破記念企画
あなたの「人間関係」の中に「人生の課題」がすべて入っています。
——本田 健

5刷 全国書店で売れてます！ランキング上位続々！
紀伊國屋書店 新宿本店（社会部門 8/4〜8/10）1位
紀伊國屋書店 梅田本店（社会部門 8/4〜8/10）1位
丸善 丸の内本店（ビジネス部門 8/14〜8/20）1位
丸善 日本橋店（ビジネス・経済部門 8/14〜8/20）1位
八重洲ブックセンター本店（総合8/10〜8/16）1位
君は、どう生きるのか
心の持ち方で人生は変えられる
富士フイルムホールディングス 代表取締役会長兼CEO 古森重隆
ISBN978-4-8379-2519-4 ●定価（本体1400円+税）
大胆な構造転換で富士フイルムをV字回復させた世界が認めるカリスマ経営者が伝える“生き方”“働き方”のヒント
写真 桑島智輝

「ちょっとしたこと」で、驚くほど印象が変わる！
「気の使い方」がうまい人
相手の心理を読む「絶対ルール」
山崎武也
ISBN978-4-8379-2542-2 ●定価（本体1000円+税）
4刷

テレビ東京系「主治医が見つかる診療所」で大人気！心療内科医で栄養学の専門家が教えます！
美しくなりたければ食べなさい
心療内科医 医学博士 姫野友美
ISBN978-4-8379-2538-5 ●定価（本体1250円+税）
4万部！

各QRコードからすぐに!! 無料で!!
「三笠書房BOOKSTORE」で立ち読みができます!!
PC・スマホ・タブレット対応!! http://www.mikasabooks.jp